



# まえに

Sasaeni

ご自由にお持ちください

2026年1月発行 Vol.74

特集:県内11病院より新年のご挨拶

JA新潟厚生連はSDGsに貢献します



県内11の病院が地域の皆さまの健康と心を支えます

- 佐渡総合病院 (佐渡市)
- 村上総合病院 (村上市)
- 豊栄病院 (新潟市北区)
- あがの市民病院 (阿賀野市)
- 新潟医療センター (新潟市西区)
- 柏崎総合医療センター (柏崎市)
- 長岡中央総合病院 (長岡市)
- 小千谷総合病院 (小千谷市)
- けいなん総合病院 (妙高市)
- 糸魚川総合病院 (糸魚川市)
- 上越総合病院 (上越市)



「人と地域とつながる病院」をテーマにした対談企画を掲載しています。  
◀ バックナンバーはこちらからご覧いただけます。



## 人とともに薬局は成長する。

患者さまに安心を届け、  
地域の医療に貢献することが、私たちの仕事。  
薬剤師一人ひとりの成長が、  
アイングループの成長を支えています。

**アイン薬局**



公式アプリ「いつでもアイン薬局」から  
処方箋を送信できます！  
今すぐアプリをダウンロード！

App Store、Google Playで

いつでもアイン薬局 🔍 を検索



iPhone®用

iOSバージョン  
14.0以上



Android™用

Android OS  
バージョン6.0以上

株式会社アイン北陸

オフィシャルウェブサイトはこちら

所在地 新潟市中央区湖南24-2 電話番号 025-288-0228(代表)



## あなたの街の健康を支える薬局です。



共栄堂は、1948年の創業以来、  
「薬剤師として地域の医療を支えたい」  
という想いのもと、一貫して患者さまや  
地域の皆さまの健康と医療のサポートに  
取り組んできました。  
シンボルマーク「+K」には、  
「積極的に取り組む」  
「良い関係を築き、安心・信頼を  
深めることで社会に貢献する」という  
思いが込められています。  
患者さま本位の選ばれる  
「かかりつけ薬局」として、  
共栄堂はこれからもプラスの思考で  
地域の皆さまの健康と医療を  
サポートします。

**+K** 株式会社 共栄堂

【本部所在地】 〒950-0162 新潟市江南区亀田大月2-5-38  
TEL 025-383-1200 FAX 025-383-1201

【URL】 <https://kyoueido.net>





# 県内11病院より新年のご挨拶



JA新潟厚生連  
代表理事 理事長 塚田 芳久

新年あけましておめでとうございます。  
日頃より、当会運営に格別のご高配を賜り、  
心より御礼申し上げます。

本年も医療・保健・福祉事業を通じて、組合員・地域住民の皆様

「生命」と健康な暮らしを守り、豊かな地域づくりに貢献します。

新潟県の海岸線は長く、本土だけでも三百三十kmあります。JA

新潟厚生連は、北に村上総合病院、西に糸魚川総合病院、そして

日本最大の離島には佐渡総合病院など11病院はじめ診療所、介護医療院、訪問看護ステーションなどを配置し、県内医療の均てん

化、医療アクセスの維持に努めています。

一昨年、JA新潟厚生連は先陣を切って経営危機を公にし、ご心配をお掛けしました。医療界の置かれた厳しい環境は広く知られることとなり、関係機関から各種ご支援を賜り感謝申し上げます。

しかし、所在自治体の財政支援や国の補正予算を受けても、過疎地を含む持続可能な医療提供体制は容易に見通せないのが実情です。

このままでは出資いただいた県内

JAへの影響も否定できない状況にあり、現状規模・機能からの縮小や再編に留まらない抜本的対応も検討しなければなりません。

我々にとって地域医療と職員雇用を守る上で大切な一年になると考えています。

最後になりますが、今年が皆様にとって良い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## JA新潟厚生連とは(新潟県厚生農業協同組合連合会)

地域医療に貢献し、皆さまの健康をサポートします。

地域の皆さまの健康で心豊かな暮らしを築くため、医療施設、介護医療院、介護老人保健施設、健診センター、看護専門学校ほかの施設を運営しています。

### 事業内容

#### 医療事業

新潟県厚生連は現在、11の病院を運営しています。地域の特性を生かした病院作りを目指しています。

#### 保健事業

人間ドックのほか、生活習慣病予防検診、各種がん検診、巡回健診などに力を入れています。

#### 福祉事業

高齢者のため、在宅医療の充実を目指したものです。福祉相談、訪問看護と訪問リハビリなどに取り組んでいます。

## 糸魚川総合病院



病院長  
山岸 文範



今年の私たちの合言葉は「日本」の地域医療病院をつくろう」です。

行政用語として使われるようになった「地域医療」は、地域の患者ニーズに素直に応える医療と定義できます。免許返納と家族の少人数化による通院困難、「軽症だから帰っていいよ」と言われても家族はおらん。ご飯も作れないという高齢者の切実な訴え。病気を治すのは第一ですが、すでに医療は遠くなり生活を支えることもできない。

私たちは「地域医療」の捉え方を見直し、併せてそれが職員にとって魅力的な医療と言えるようにしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



〒941-8502  
糸魚川市大字竹ヶ花457番地1  
TEL 025-552-0280



総合的な医療を提供する  
糸魚川地域唯一の基幹病院

糸魚川地域の基幹病院として、救急搬送の約8割を受け入れております。一般急性期病床に加えて、準高度急性期病床、地域包括ケア病床も整備し、急性期、回復期、慢性期、在宅医療まで幅広く医療提供しております。

## けいなん総合病院



病院長  
平野 正明



新年あけましておめでとうございます。

本年は、60年に一度しか巡ってこない「丙午（ひのえうま）」の年だそうです。60年前の1966年は、迷信によって、出生数が前後の年より約50万人も少ない約136万人でした…とはいうものの、現在より多いですね。

本来、「丙午」は、エネルギーで挑戦的、情熱や変化を表し、物事を力強く進めていくという意味があるようです。私たちも、情熱を胸に飛躍の1年にしたいと思います。



〒944-8501  
妙高市田町2丁目4番7号  
TEL 0255-72-3161



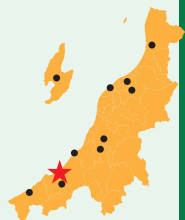
医療・保健・福祉が一体となって  
地域医療に貢献

「働く人が輝くことによって、地域医療に貢献する」を理念に、安全・安心(Safety)、誠実、親切、信頼、Smileの5Sを行動指針としています。地域社会の皆さま方や働く職員にとって「魅力ある病院」を作り、親切で小回りの効く地域密着型病院を目指します。

## 上越総合病院



病院長  
籠島 充



あ あたりまえの診療を続けるのが難しい  
け わしい道のりばかりの今の医療です  
ま まじめで真摯な努力が報われません  
し しかし、下を向いてはいられません  
て 照らします 地域医療の明日の希望を  
お おまかせください 上越総合病院に  
め 名人ぞろい 経験豊かな職員ばかり  
で どんと構えてみなさんと向き合います  
と ともに幸せに暮らせる地域のために  
う 上を向いて、ことしも歩みましょう



〒943-8507  
上越市大道福田616番地  
TEL 025-524-3000



急性期医療を軸に  
包括医療サービスを提供

上越地域の基幹病院として「人にやさしく、地域に開かれ、地域に貢献する病院」という理念のもと、急性期医療を中心に、地域医療に取り組んでいます。また、令和6年度より透析機能を拡充しました。医師の臨床研修や専門研修、看護師特定行為研修など、人材育成に力を入れています。



## 柏崎総合医療センター



病院長  
相田 浩



新年あけましておめでとうございます。医療は地域で安心して暮らすために必要なものです。当院は救急受け入れや分娩の継続、がん治療、透析施設の維持をはじめとした地域にとつて必要不可欠な医療をこれからも提供してまいります。しかしながら物価上昇や厳しい診療報酬により病院経営は大変な状況にあります。厚生連では賞与などの人件費を抑制し、経営努力を続けています。離職者の増加も懸念されます。病院を維持していくことが使命ではなく、あくまで地域医療を維持することが使命と考えています。これからも痛みの伴う改革が必要になります。皆様にもご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとつて良い年になりますよう祈念しております。



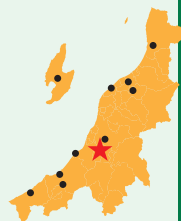
地域唯一の総合病院として  
救急医療の8割を受け入れ

柏崎・刈羽地域唯一の総合病院として、地域の救急医療の8割以上を受け入れるほか、災害医療やがん治療にも積極的な取り組みを行っており、地域と医療と福祉の連携を進めています。

## 小千谷総合病院



病院長  
柳 雅彦



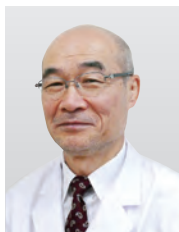
あけましておめでとうございます。当院開院し八年余が経過しました。なかでも令和六年の介護医療院開設、入院病床199床へ変更、の二点の変革は大きな転換点でした。地域の医療や介護ニーズの変容、当院スタッフの体制、当院収支などを考慮しての変革でありましたが、いずれの問題点も改善に向けて徐々に成果が出ています。そして昨年には六年ぶりに病院祭を開催しました。諸要因にて開催自粛を続けていましたが、今回JA魚沼様や小千谷市様のご助言を頂き開催を決定しました。当日はJA魚沼様の農林まつりと共催のおかげもあり、たくさんの方から来場いただき盛況となりました。このように皆様と共にいることが我々医療者の心を強くし困難に向かつていく大事な意識であろうと痛感したところであります。今年もよろしくお願いいたします。



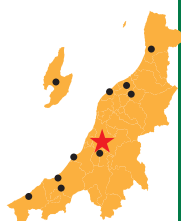
地域の中核病院として、地域包括  
ケアシステムを支えるケアミックス型病院

平成29年に厚生連魚沼病院と公益財団法人小千谷総合病院が統合・移転新築し開院しました。医療・保健から介護福祉まで、ワンストップで地域の健康管理を担っています。また、人工透析などの慢性疾患の継続的な治療、人間ドックにも積極的に取り組んでいます。

## 長岡中央総合病院



病院長  
矢尻 洋一



新年あけましておめでとうございます。一昨年来の厳しい医療情勢、病院経営危機などの報道もあり、皆様にご心配をおかけしておりますが、地域に必要とされる医療を適切に提供することが、当院の使命であります。実直に病院の理念である「適切で心温まる医療を提供する」を実践してまいります。

当院は昨年の創立90周年を経て100年、そしてその先に向け、無痛分娩、ロボット支援手術、AIによる業務改善など、新しい取り組みを、安心・安全のもと進め、中越・長岡地区の地域医療に貢献してまいります。今年は午年にちなんで、軽やかに駆け抜ける飛躍の1年でありますように。皆様の長岡中央総合病院をよろしくお願いいたします。



高度専門医療と救急医療機能  
で中越全域に安心を

中越地域の中核病院として高度な医療機能を備え、先端医療技術の研鑽に努めています。また、平成18年には地域がん診療連携拠点病院、令和3年には地域医療支援病院の認定を受けています。

## 新潟医療センター



病院長  
吉澤 弘久



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。2025年は、自然災害の頻発、エネルギー価格や物価高騰等、社会全体として多くの変動に直面した二年でありました。こうした状況の中で、地域における急性期医療の役割と責任は格段に高まっており、私どもはその変化に対応えるべく改革を進めております。

一昨年より救急医療体制を強化し、年間救急車受け入れ件数は従来2,000台から4,500台へと飛躍的な増加を達成いたしました。本年も、急性期医療の「質」と「迅速性」をさらに向上させるべく、職員一同邁進いたします。

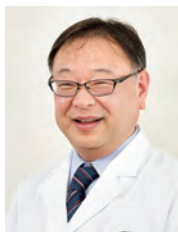
皆様におかれましては、本年が健康で実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



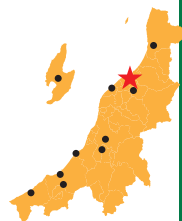
救急車受け入れ拡大に取り組む  
センター病院

新潟市内における救急医療逼迫解消に向け、現在、救急医療体制の強化をしながら「新潟の命を守る」を合言葉に地域医療に貢献する病院づくりに取り組んでいます。

## 豊栄病院



病院長  
関 慶一



あけましておめでとうございます。豊栄病院は昨年、新しい先生方を迎えて診療内容の幅が広がりました。本年も地域のかかりつけ病院としての機能向上を図ってまいります。これまで通りに一般診療はもとより、今後さらに増加する高齢者救急に対応するため、一部病床を地域包括医療病棟へ機能転換し、在宅医療も強化していく方針です。少しずつ変わりますが、持続的に質の高い地域医療を担えるように、当院は進化していきます。「治し」、「支え」、「寄り添う」をモットーに、開かれた病院として人と人の絆、つながりを大切にしながら、地域コミュニティの二員として、皆さんの健やかな生活を守り、安心して住みやすい暮らしと街づくりに貢献できるように努めていきます。本年もよろしくお願いいたします。



新潟市北区唯一の一般病院として  
心温まる医療サービスを提供

新潟市北区を中心に、急性期・回復期・慢性期医療をトータルに提供。保健・福祉の各事業も積極的に推進することを理念としています。医療・介護の連携を担う福祉連携センターとともに、さらなる高齢化に対応した体制をとっています。

## あがの市民病院



病院長  
藤森 勝也



新年あけましておめでとうございます。午年の本年、あがの市民病院は、地域密着型病院として、さらなる病院機能向上のための「本の矢」を放ちます。高齢化社会において行政と協同し、「地域包括医療・ケア」を推進し、「住み慣れた地域で安心して暮らせる街」の実現を目指します。予防・急性期・回復期・在宅医療まで切れ目のない「ケア」を提供し、「地域愛着病院」として皆様と共に歩んでまいります。

本年も、職員一同、心をひとつにして地域医療に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



阿賀野市の中核病院として親しまれ、  
信頼される地域愛着病院となる

阿賀野市からの要請を受け、平成22年より指定管理者として当会が事業運営を行っています。地域住民の命を守り、皆さまから親しまれ、信頼され、安心される病院づくりに取り組んでいます。また、医療・保健・福祉の連携を推進していきます。



## 次号告知 (2月1日発行予定)

次号の特集「人と地域とつながる病院」は、自然(生命)×医療をテーマに特別版でお送りします。

植物の魅力を伝える園芸デザイナーとして、日本とマレーシアの2拠点生活をしながらグローバルに活動されている三上真史さんをお迎えし、新潟医療センターの看護部長、副看護部長、看護師長と座談会を開催。自身の健康管理法から医療を受ける側、提供する側の想いまで語り合います。

※動画の撮影も入りました



# 国産消費 国産さん

国産食材をおいしく食べよう!



メンバーが調理を楽しむ動画等を公開中! ぜひアクセスしてください!



乃木坂46



新潟県厚生農業協同組合連合会 企画管理部 〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109 tel.025-211-2710 fax.025-228-0992

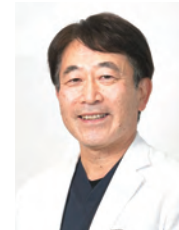
支えに 新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌 2026年 新年号  
〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109  
tel.025-211-2710(代表) fax.025-228-0992(代表)  
企画/ 新潟日報メディアネット 企画・編集・協力/ 株式会社ディレボ



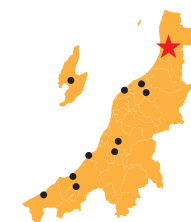
JA新潟厚生連ホームページURL  
<https://www.niigata-kouseiren.or.jp/>



## 村上総合病院



病院長  
杉谷 想一



あけましておめでとうございます。昨年、人口減と高齢化、病院の経営危機のニュースに心を痛めた二年でしたが、職員全員の気持ちを一つにして地域医療を守ることができました。

うれしいニュースもありました。閉鎖したぶどうスキー場が東京のIT企業の力を借りて復活しました。地域活性化の期待に心は踊り、久しぶりにゲレンデから青い海を眺めたいくなります。いつもの雪景色もことは違つて見えませんか?

わたくしたちは、魅力あるこの地を愛する人のため、決して医療の火を絶やしません。

さあ信じましょう! 地域の底力を



〒958-8533  
村上市緑町5丁目8番1号  
TEL 0254-53-2141



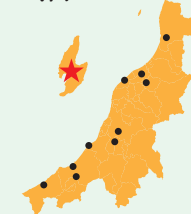
### 優しい医療をとどける「北の砦」

県北の総合病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院として日常診療から救急医療、人間ドックまで広く貢献できるよう日々努力しています。地域のみなさんの安心のため、かかりつけ医として地域医療を守ります。

## 佐渡総合病院



病院長  
佐藤 賢治



あけましておめでとうございます。暗い話題や真偽不明な情報が飛び交い、希望を持たせてくれない空気が蔓延しています。しかし、人々の生活レベルは大きく向上、食べ物や物資に困らないどころか、子どもですらスマホを持つ社会です。

80歳を超えても元気に生活できるようになりました。「世の中は悪くなる一方だ」との印象は社会が豊かになった証なのかもしれません。いつの世も「何気ない日常」が大切だと思います。

私たちは地域住民の一人として、みなさまとともに助け合う社会を目指しています。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



〒952-1209  
佐渡市千種161番地  
TEL 0259-63-3121



### へき地医療にも取り組む佐渡島内の基幹病院

佐渡島内の基幹病院として、地域行政や地域医療機関との連携をはかりながら、島内で医療を完結できる機能の体制整備に取り組んでいます。また、へき地医療拠点病院として、無医地区の診療機能確保にも努めています。

## JA新潟厚生連 イベントレポート



あがの市民病院 11/5(水)

### 「こども医学講座」を開催しました

～健康寿命を延ばすため、次世代へ先制的にアプローチ～

阿賀野市立堀越小学校の6年生を対象に「こども医学講座」を開催し、「医者の仕事って?」「消化管って?」「検診って?」の3つをテーマに、あがの市民病院(新潟大学医歯学総合病院兼任)消化器内科の佐藤裕樹先生が出張授業を行いました。佐藤先生はご自身の経験をもとに、生い立ちから医師になるまでの経緯や、現在の1日の仕事の流れを紹介し、職業を選択するうえで大切なことについて話されました。また、消化管の動画を放映したり、実際に内視鏡に触れてもらう機会を設け、子どもたちと有意義な時間を過ごすことができました。学校教育の延長として、クラス全員に向け「医師にしかできない授業」が提供でき、これをきっかけに将来の職業について考え、サイエンスに興味を持ってもらえることを祈っています。(本イベントはNHKの新潟ニュース610・新潟日報で紹介されました。)

※阿賀野市では、市民の健康寿命延伸に向けて新潟大学医学部に「健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座」を設置し、共同研究に取り組んでいます。「こども医学講座」は、子どものうちから体の仕組みに興味を持つことで、病気の予防や将来の健康につながる生活習慣を身につけることができることを目的に実施されました。



糸魚川総合病院 11/8(土)

### 災害拠点病院訓練

11月8日に災害拠点病院訓練を行いました。当院は災害拠点病院として毎年1回の多数傷病者受け入れ訓練を実施しています。今年は地震発生後津波警報が発令されている状況を想定し本部を2階へ変更し実施しました。また市の消防機関と協力して訓練を行い、今後の課題の抽出と糸魚川市との連携強化を行いました。

